

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	グロイング・ホーム
住所	埼玉県行田市行田9-5
電話番号	048-501-8756

事業所番号	11137000296
管理者名	石川智彦
対象年度	令和 5 年

(I) 労働時間		点
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(IV) 支援力向上 (※)		点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
参加した職員が1人以上参加している		
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		○
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		○
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		○
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		○
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計(注2)		5
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(II) 生産活動		点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(V) 地域連携活動		点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合:10点		

(III) 多様な働き方 (※)		点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○	
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○	
就業規則等で定めている		
小計(注1)		5
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(VI) 経営改善計画		点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計

# 150

点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	18,787	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,668	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.02	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（3月～4月）

前々々年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	15,308,678	円	利用者に支払った賃金総額	15,274,786	円	収支	33,892	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,448,758	円	利用者に支払った賃金総額	18,412,256	円	収支	36,502	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	19,340,827	円	利用者に支払った賃金総額	19,253,312	円	収支	87,515	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している

※研修名 一般企業でのハラスメント実体験  
研修講師 田中啓之 ㈱ファクティ 代表取締役  
実施日・受講者数 11月18日 6人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名  
実施日 月 日  
※学会誌等名  
掲載日 月 日  
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している  
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 ㈱アケビ  
実施日/参加者数 令和5年12月23日 2人  
※他の事業所名 (株)メンバーズ  
実施日/参加者数 2023/12/23 2人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している

※商談会等名 行田商工会議所  
主催者名 販路拡大PR  
日時 令和6年2月17日  
内容 障害者雇用の受注先紹介PR

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 令和5年3月1日  
人事評価制度の対象職員数 5名  
うち昇給・昇格を行った者 2名  
当該人事評価制度の周知方法  
役員会にて本人に面談にて口頭で報告

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している 令和4年10月17・31日

※配置期間 令和4年11月1日～現在に至る  
就業時間 8:30～16:45  
職務内容 生活支援員

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日  
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日  
規格等の内容

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	グローイングサポート
住 所	埼玉県行田市行田9-5
電話番号	048-501-8756

事業所番号	11137000296
管理者名	石川智彦
対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>明和グラビア株式会社 行田工場 月曜日～金曜日 防災圧縮袋&amp;ペット用消臭マット 利用者8名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>     
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>障害者への理解と仕事の確保及び最賃の確保 アウトソーシングによるコスト削減の協力 知識・能力の向上を計る</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>利用者の個々の能力向上で最賃の確保</p> <p>作業ミスも数回ありお客様にご迷惑をかけてしまった 再発防止策にてミス無き作業を心がける</p>	

## 連携先の企業等の意見または評価

## 連携した結果に対する意見または評価

指導員の方が理解するまで確認し利用者も作業を丁寧に行っていました。  
少しでも作業効率が向上するよう配置も考えて作業をして頂いている感じも見受けられます。  
ミスの軽減を考え寸法確認を改めて実施頂き効率の良い作業をお願い致します。

## 今後の連携強化に向けた課題

障害者の方の働く姿が輝く、働きやすい環境作り。その手助けを当社の作業を通じて出来るように、今後もお互い  
能力・向上を養いお互いコミュニケーションを取り進めて行けたら良いと思います。

連携先企業名	明和グラビア株式会社	担当者名	久米 純
--------	------------	------	------

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	グローイングサポート	事業所番号	1113700296
住所	埼玉県行田市行田9-5	管理者名	石川智彦
電話番号	048-501-8756	対象年度	令和5年

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>場 所：明和グラビア(株)行田工場          実施日：毎月 月曜日～金曜日 施設外就労で実施          産業資材 &amp; 生活資材の製品化作業          利用者数 8人</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>サイズ間違いを防ぐため↓</p> <p>R角度の刃無きカットが出来るようになった</p> 
<p>&lt;目的&gt;利用者の知識・能力の向上に係る実施のねらい</p> <p>一般就労への意欲と自信を付ける事          各利用者の作業長所を探索し能力・知識向上          利用者にとってのメリット          自信から生まれる就労意欲とチャレンジ精神</p>	 <p>ラベルの正しい位置に正しく張り作業          ラベルに作成日等の印字も確認出来ている</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果          生産性の向上により最賃の確保・作業への自信          得られた成果          企業からの信頼、能力の向上          課題点          効率が良くなったが安堵感から生まれる作業ミスの撲滅</p>	 <p>袋の表裏も正しく入れ込み作業          ラベル位置及び印字を再確認</p>  <p>入れ込み本数の確認ご梱包作業          外装箱に指定のシールを張り箱閉じ作業</p> <p>全体的にスムーズに点検確認が出来ている</p>

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

最初の生活資材作業と違い大きな産業資材の製品加工が増えてきましたが、日々能力の向上は仕上がった製品で判断できます。繁忙期などは多種多様な製品加工指示を依頼してありますが個々の知識・能力を信じ作業を遂行してください。慣れてくる時が一番の落とし穴があります、作業指示書が理解できない場合何度も確認を願います。

連携先企業（担当者） 久米 純

## 利用者からの意見・評価

昨年10月からリーダー研修にて全体の作業指示を出すことになり、採寸カット・事務仕事・梱包と製品にする過程を勉強し自信になりました。今では企業の担当者と朝の打合せを行い生産性を上げる事に努めてますが、うっかりミスが起きる事の怖さも知りました。再発防止も考え同僚とのコミュニケーションを取りながら色々な作業をこなしています。インテューザ様に安心できる製品の提供を目指し邁進します。